

## 2年次選択科目 救命救急センター臨床研修プログラム

基本的に必修科目の救急研修とほとんど同じ研修目標項目であるが、2年次選択では、必修で充分習得しきれなかった点を中心に反復履修し、より高い技能の習熟を目指すものとする。

### 1. 研修施設

獨協医科大学病院

### 2. 研修期間

1か月～

### 3. 指導体制

指導責任者： 小野一之教授

主任指導医： 根本真人

### 4. 診療・研修の特徴

- 1) 救急患者の初期治療・集中治療
- 2) 中毒患者に対する標準的治療
- 3) 各種外傷に関する根本的治療
- 4) 循環器疾患に対する標準的治療

### 5. 研修内容

- 1) 24時間救急患者対応
- 2) 症例提示法の習得、患者の病態に準じた初期治療、手技の習得
- 3) シミュレーションを用いた救急診断・初期治療の習得
  - ① 多彩な救急病態の把握
  - ② 救急患者に対する適切な診断処置
  - ③ 録画による救急患者対応の評価
- 4) 二次救命処置(=Advanced Cardiovascular Life Support:ACLS)に基づいた心肺蘇生法の習得
- 5) 多発外傷を含む外傷の初期治療の習得
- 6) 救急車同乗にて現場の対処法の習得
- 7) ドクターヘリ同乗にて現場の対処法の習得(2か月以上研修の希望者)

6. 研修目標

病院前救護	一 般 目 標 (G I O)
	災害時トリアージ・災害医療の補助的役割について理解する
	到 達 目 標 (S B O)
	個々の症例で救急隊に的確な指示ができる
	T.P.O にあったトリアージを実行できる
事故現場において救急隊と協力し、受傷患者に適切な処置ができる	
医療を知らない一般市民に的確な口頭指示ができる	
警察、消防（救急隊）と円滑な連携を保てる	

救急対処法	一 般 目 標 (G I O)
	救急に対応するために急性諸症の諸原因を再確認し、与えられた状況下で最も適切な処置を講じる能力を身につける
	到 達 目 標 (S B O)
	バイタルサイン（意識、体温、呼吸、血圧、脈拍）などのチェックを短時間にできる
	神経症状に基づいた意識障害の鑑別ができる
	発症前後の状況を本人だけでなく、家族、同僚、付添人などからも十分に収集し把握できる
	人工呼吸（用手、ロー口、バッグ・バルブ・マスク）および胸骨圧迫式心マッサージができる
	緊急輸液ルートの確保ができる
	気管挿管ができる
	気管切開の適応を述べることができる
レスピレータを装着し、調節できる	
直流除細動の適応をあげ、実施できる	
必要な薬剤（速効性強心薬、利尿薬など）を適切に使用できる	
大量出血の一般的対策を講じることができる	
創傷の基本的処置（止血、感染防止、副木など）がとれる	
中心静脈路確保と中心静脈圧測定ができる	
緊急胸腔ドレナージができる	
初期治療を継続しながら適切な専門医に連絡する状況判断ができる	
緊急手術が必要か否か判断できる	
コメディカルと協調し心肺蘇生を実行できる	

重症患者管理	一般目標 (G I O)
	重症患者 (特に多臓器に傷病が及ぶ場合) の集学的治療
	到達目標 (S B O)
	急性循環不全患者の管理ができる 敗血症患者の管理ができる 重症患者 (compromised host) に対する感染予防に応じた適切な抗菌薬が選択できる 各種細菌培養結果の理解ができる 重症患者の転送に当たって、主要な注意を指示できる 複数の専門医間のマネージメントができる 侵襲時の栄養管理ができる

特殊集中治療	一般目標 (G I O)
	特殊医療機材を用いた医療を理解する
	到達目標 (S B O)
	急性血液浄化法の適応を理解できる スワン・ガンツカテーテルを挿入し、データ分析できる 各種モニター類の原理を理解し、データを治療に反映できる

終末期・病院後	一般目標 (G I O)
	現代医療の限界を認識
	到達目標 (S B O)
	適格な生命予後を判断できる 臨床的脳死判定ができる 初診患者に対しても的確な死亡確認ができる 異状死体に対して適切な法的手段を考慮できる

## 7. 経験が求められる疾患・病態

### 1. 基本疾患

#### (1) 運動器 (筋骨格) 系疾患

①多発骨折

#### (2) 循環器系疾患

①急性心不全

②狭心症、心筋梗塞

③不整脈 (主要な頻脈性、徐脈性不整脈)

④動脈疾患 (大動脈瘤)

(3) 呼吸器系疾患

①急性呼吸不全 ②喘息重責発作 ③肺循環障害（肺塞栓・肺梗塞）
---------------------------------------

(4) 腎・尿路系（体液・電解質バランスを含む）疾患

①急性腎不全
--------

(5) 感染症

①重症ウイルス感染症および細菌感染症
--------------------

(6) 物理・化学的因子による疾患

①中毒（アルコール、薬物） ②アナフィラキシー ③熱傷
-----------------------------------

2. 緊急を要する症状・病態

心肺停止 ショック 意識障害 脳血管障害 急性呼吸不全 急性心不全 急性冠症候群 急性腹症 急性消化管出血	急性腎不全 流・早産および満期産 急性感染症 外傷 急性中毒 誤飲、誤嚥 熱傷 精神科領域の救急
---	---

8. 研修に関する週間スケジュール

	午前	午後	夕方
月	カンファレンス 研修	レクチャー 研修	カンファレンス
火	カンファレンス 研修	研修	カンファレンス
水	カンファレンス 研修	レクチャー 研修	カンファレンス
木	カンファレンス 研修	研修	カンファレンス
金	カンファレンス 教育回診	レクチャー 研修	カンファレンス
土	カンファレンス 研修	勉強会	